

地域イノベーション・

テーマ：

九州大学 × i³-opera × ベンチャーで
実現する人材と資金の持続的循環

講演者：

文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課

地域支援室 室長 氏原 拓 様

九州大学 主幹教授 安達 千波矢

エグゼクティブ事業プロデューサー 林 隆一

他

2021.03.05

ONLINE

EVENT

テーマ：

有機と無機デバイスの融合に向けて

講師：

TOYO Tech LLC (USA) Chief Scientist 井上 勝 氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所

九州センターミニマルIoTデバイス実証ラボ 副ラボ長 大園 満 氏

他、福岡県補助事業成果、関連機関を紹介

第
16
回有機光エレクトロニクス
産業化研究会

エコシステム形成プログラム成果報告会

【地域イノベーション・エコシステム形成プログラム成果報告会】

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センターおよび i³-opera では、優れた人材、インテリジェンス、および事業資金が集積し循環する有機光デバイスシステムバレーの構築を目指し、2016年から本プログラムを実施してきました。その成果として導出された新たなコア技術とそれを生かす2つのベンチャー企業、そして、九州大学×i³-opera×研究開発ベンチャーの3者で展開を試みる新たな地域エコシステムの形を皆様にご紹介いたします。

- 文部科学省 挨拶 9:30
- 福岡地域の取組 9:35
- 成果導出先ベンチャー企業のご紹介 10:00
- 技術開発成果 10:30
- 今後の展望 11:55

【第16回有機光エレクトロニクス産業化研究会】

有機光エレクトロニクス技術はディスプレイに留まらない、新たな応用展開が期待されています。特に、ウィズコロナや低炭素社会に対応した高度情報通信・省エネルギーデバイスの創出は喫緊の課題です。今回の研究会は、この課題に対応する一つの方法として「有機と無機デバイスの融合に向けて」というテーマで講演を実施します。電子デバイス開発で重要な「物性計測」と「製造プロセス」という異なる技術側面から、有機と無機の垣根を超える技術アプローチのヒントを考えます。

- 開会の挨拶 13:30
- 講演
 - 「変位電流測定による有機・無機材料評価」 13:40
 - 「九州におけるミニマルファブの取り組み」 14:30
- 福岡県補助事業成果紹介
 - 「IJP 有機 EL 生産ラインの減圧乾燥炉 評価機製作」 15:20
- 関係機関紹介 16:00
- 閉会の挨拶 16:35

【お申し込み方法】

QRコードから必要事項の事前登録をお願いいたします。ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。お問い合わせは、092-805-1850/i³-opera@ist.or.jp（担当：大西・淵上）まで



〈主催〉福岡県、福岡市、九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）、

（公財）福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）、公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）

〈共催〉公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）、有機EL討論会

本研究会開催は、文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の補助を受けております。